



「第37回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展）」 一般の部 入賞者決まる！

第37回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展）・一般の部審査会を、去る8月22日（金）に実施し、応募作品数69点から、グランプリ（文部科学大臣賞）以下11点の入賞者を決定しましたのでお知らせします。

また、9月6日（土）から9月21日（日）までの間、全ての出展作品を丹波年輪の里 木の館ホールにおいて展示するとともに、前回 一般の部グランプリ作者（安森優氏）による個展を同会場にて同時開催いたします。

表彰式は、10月26日（日）13時30分から行います。

なお、グランプリ以下入賞作品の審査講評は、9月4日（木）にご用意できます。また、写真撮影については、9月5日（金）から可能ですので取材をお願いします。入賞結果はホームページにも掲載する予定です。https://nenrin.org/w_craft/

記

- 応募状況**

出展作品数	69点（前回：80点）
出展者数	67名（前回：73名）

（北海道から沖縄まで22都道府県からの応募があった。前回：22都道府県）
WEBでも申込み（WEB申込み数22件）
- 入賞者**

別紙（参考）

 - ・今回のテーマ別部門のテーマは「ゆったり」で、69点中12点がテーマ作品であった。
 - ・「親子で遊べる木のおもちゃ作品部門」は、69点中18点であった。
 - ・学生からの出展35点の中から「学生賞（丹波市製材協会賞）」が選ばれた。

若い世代の活躍に期待が寄せられている。
（参考）学生出展数35名、35点（前回35名、38点）
- 審査員**

審査委員長	渋谷 寿	（名古屋葵大学教授）
審査員	尾崎 織女	（日本玩具博物館学芸員）
	中井 秀樹	（プロダクトデザイナー）（50音順）
- 展示期間**

令和7年9月6日（土）～9月21日（日）
9：00～17：00 最終日は15：00まで
休館日は月曜（月曜祝日の場合は翌平日）

なお、展示期間中、来場者による作品（入賞作品以外）の人気投票を行います。
選ばれた作品の出展者と、投票者の中から1名に丹波の特産品（スイーツ）を贈呈。

- 5 表彰式 令和7年10月26日(日)13時30分～
(於) 丹波年輪の里 木の館・研修室
- 6 主 催 丹波の森ウッドクラフト展実行委員会
- 7 共 催 兵庫県、丹波市、(公財)兵庫丹波の森協会
- 8 後 援 丹波篠山市、兵庫県教育委員会、丹波市教育委員会、丹波篠山市教育会、(公財)兵庫県芸術文化協会、朝日新聞神戸総局、毎日新聞神戸支局、読売新聞豊岡支局、産経新聞社、神戸新聞社、丹波新聞社、NHK 神戸放送局、三木工業協同組合、(公財)森林文化協会、丹波市観光協会、丹波市製材協会（順不同）

別紙

第37回丹波の森ウッドクラフト展（一般の部） 入賞者・入賞作品名（敬称略）

グランプリ（文部科学大臣賞）

入賞者：竹澤 雄理（長崎県長崎市）

作品名：回して学ぶ多機構一手のひらの“ゆったりメカ”

準グランプリ（兵庫県知事賞）

入賞者：三浦 海音（東京都 中央工学校）

作品名：鳥の巣

優秀賞（丹波市長賞）

入賞者：荒井 一冴（金沢科学技術大学校）

作品名：知恵の盤

優秀賞（丹波市議会議長賞）

入賞者：津田 敏幸（兵庫県加古川市）

作品名：親亀の背中に…!?

優秀賞（丹波市教育長賞）

入賞者：宮本 重信（兵庫県神戸市）

作品名：小さな万国博覧会

新人賞（（公財）兵庫丹波の森協会理事長賞）

入賞者：加藤 菊文（神奈川県秦野市）

作品名：宇宙から、こんにちは！

特別賞（三木工業協同組合理事長賞）

入賞者：井川 健（佐賀県佐賀市）

作品名：HANAWA

佳作（丹波の森ウッドクラフト展実行委員長賞）

入賞者：久保 進（神奈川県伊勢原市）

作品名：立てばピラミッド、座ればラクダ

佳作（丹波の森ウッドクラフト展実行委員長賞）

入賞者：高橋 慧、高橋 敏之（岡山県岡山市）

作品名：12の約数を主題にした54mm基尺のサペリ製 数学・音楽積み木

佳作（丹波の森ウッドクラフト展実行委員長賞）

入賞者：大森 恵（兵庫県丹波市）

作品名：ぴころん

学生賞（丹波市製材協会賞）

入賞者：前園 結香、山下翔太、山下葉月、濱田悠人、美吉田朝哉（佐賀大学）

作品名：によろによろフィッシング

出展作品数 69点

出展者数 67名

グランプリ（文部科学大臣賞）

入賞者：竹澤 雄理（長崎県長崎市）

作品名：回して学ぶ多機構—手のひらの“ゆったりメカ”—



(作者コメント)

クランク、ゼネバ、遊星ギアなど、さまざまな機構をモチーフにした回転玩具です。
試作を重ねて軸や木の厚みを工夫し、長く回して遊べる強度を持たせました。
回すたびに異なる動きが指先に伝わり、ハンドスピナーのように“ゆったり”と癒やされながら、仕組みの面白さを直感的に学べます。
大人は機構の美しさに、子供は動きの楽しさに夢中になる、誰でも楽しめる木のおもちゃです。

発表者名 (担当者名)	連絡先電話番号
丹波年輪の里 館長 村上 佳邦 企画担当 足立 文代	0795-73-0725